



ProWein は、「ワインバイヤーなら Must to visit」

(ジャーナリスト 蛭沢登茂子氏)

「ProWein の良い点は、世界各国のワイン産地がバランスよく 見て回れること」

(ワインジャーナリスト 綿引まゆみ氏)

2015年3月15日～17日、デュッセルドルフのメッセ会場で開催された ProWein は、今回も出展・来場者数とも記録的に増加し、新しいホール構成も導入され、さらに国際色も豊かになった。今回の開催結果から、ProWein は名実ともにワイン・アルコール飲料業界のリーディング・フェアであると言っても過言ではない。会期中の併載プログラムも、世界一流と言え、300以上のテーシング、セミナーや発表などが開催された。また、デュッセルドルフ市内にあるレストラン・バーともコラボし、約80のイベントが「ProWein goes City」の名の元で開催され、魅力ある開催に花を添えた。

出展・来場者について

昨年に比べ、**出展者数が1,140社も増加**し、今年度の ProWein **出展者総数は5,970社**という記録的な数字に達した。イタリア、フランス、ドイツなど、ヨーロッパはもちろん、チリ、アルゼンチン、オーストラリアやニュージーランドなど世界中 **50か国**からワインが集結した。

来場者数は、業界関係者のみの入場限定にもかかわらず、昨年より7%増加し、123ヶ国から(!) 52,000名超を達成した。そのうち、24,000以上のバイヤーがドイツ国外からデュッセルドルフに足を運んだ。今回は、特に北米・南米のバイヤー数が増加したという。その背景は ProWein が間違いなく買い付けや発注のための商談展示会として利用されていることであると思われる。来場者(バイヤー)の約40%は既に会期中に発注をし、約44%はメッセ直後に発注する計画であることを公表した。

日本のプレゼンス: The Taste of Japan パビリオン



* 会期中、日本のプレゼンスは昨年同様に十分な注目を浴びた。メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンが運営した共同ブース「Taste of Japan」に今回、

* 日本初、女性審査員のみによるインターナショナル・ワイン・コンペティション「“Sakura“ Japan Women’s Wine Award」(サクラ・アワード)

* ベルリンに店舗を持つ、日本酒・焼酎の輸入販売専門業者「Sake Kontor」

が参加した。これにより、日本のワインとして井筒ワイン、シャトー酒折ワイナリー、ハギーワインなど、サクラ・アワードで受賞した日本ワインが出品された。同じく日本酒として、ドイツで入手が難しい月桂冠、宮本酒造(真澄)や竹の露酒造の純米吟醸などが出品され、欧州のバイヤーの注目を浴びた。16・17日には「和食と日本のワイン」のテースティングが、サクラ・アワードの審査責任者、田辺由美氏によるコーディネートで開催された。パビリオンに後援をいただく在デュッセルドルフ日本総領事館より、嶋崎総領事も参加され、日本ワインのPRに一役買われた。





今後の ProWein: デュッセルドルフ、上海とシンガポールにて

ProWein は今後、**2016 年 3 月 13 日～15 日**に開催する予定。

アジアでの活動もさらに拡大し、3 回目の **ProWine China** を **2015 年 11 月 11 日～13 日**に中国の上海で開催する。また、来年はシンガポールにて **ProWine Asia** を **2016 年 4 月 12 日～15 日**に初の開催予定。

お問い合わせ

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

ProWein 担当 Dr. A. メルケ

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニ・ガーデンコート 7F

T: 03-5210-9951 // F: 03-5210-9959

mdj@messe-dus.co.jp

<http://prowein.messe-dus.co.jp>

www.messe-dus.co.jp